

花粉症のつらい症状がすぐ消えて肌もきれいになると評判の杉の葉の煮汁を発見

飲んだその日に改善した人もいる

今年もまた、つらい花粉症の季節がやってきました。春一番や桜の花より、花粉症で春の訪れを知るといふ人も少なくないのではないのでしょうか。

今年、昨年の夏の猛暑と暖冬が影響して、地域によっては平年の三倍以上の杉花粉が飛ぶところもあるそうで、花粉症の人にとって、例年になくつらい春になりそうです。

さて、そんな花粉症の人に朗報です。花粉症に即効性のあるお茶が開発されたのです。それは、杉の葉を煮つめて作る「杉の葉の煮汁」です。

この煮汁を開発したのは、東



古代人には靈魂の宿る木と信じられていた杉の木

京都に住む会社経営の高野茂信さんです。自身も花粉症に悩まされており、この煮汁ですっかり花粉症をコントロールできるようなったそうです。開発のきっかけを高野さんに聞かまし

う、花粉症の症状がいつせいに高野さんを襲いました。しかし、高野さんは、そのときはそれが花粉症の症状だとは思いませんでした。てっきりカゼをひいたのだと思い、家に帰

た。

六年ほど前の春先、高野さんが車で幹線道路を走っていたときのことです。運転中にもかかわらず、突然前方が見えなくなり、涙がバアツと出てきたそうです。続いて、くしゃみ、鼻水、目のかゆみとい

ってカゼ薬を飲んだのですが、いっこうに効きません。それどころか、症状はひどくなる一方で、二三日間寝込んでしまいました。そのときに奥様が思い出したのが、杉の葉の煮汁だったのです。

「妻が『花粉症かもしれないから、試しに杉の葉の煮汁を飲んでみたら』というのです。妻は以前、田舎の祖父から、鼻の調子が悪いときに杉の葉の煮汁を飲むと、鼻の通りがよくなると聞いたことがあるそうです。そのことを思い出し、試してみたらというのです。そこで、近所から杉の枝を分けてもらい、さつそく煮つめて飲んでみました。

その日は煮汁を何杯も飲みました。すると翌日には、あんなにひどかった鼻水も目のかゆみも止まり、会社に行けるようになったのです」（高野さん）
杉の葉の煮汁の効果にすっかり驚いた高野さんは、花粉症で苦しんでいる知人にもこの煮汁

医療ジャーナリスト

石川恵美子

※記事についてのお問い合わせは編集部（☎03-3818-1251）まで